

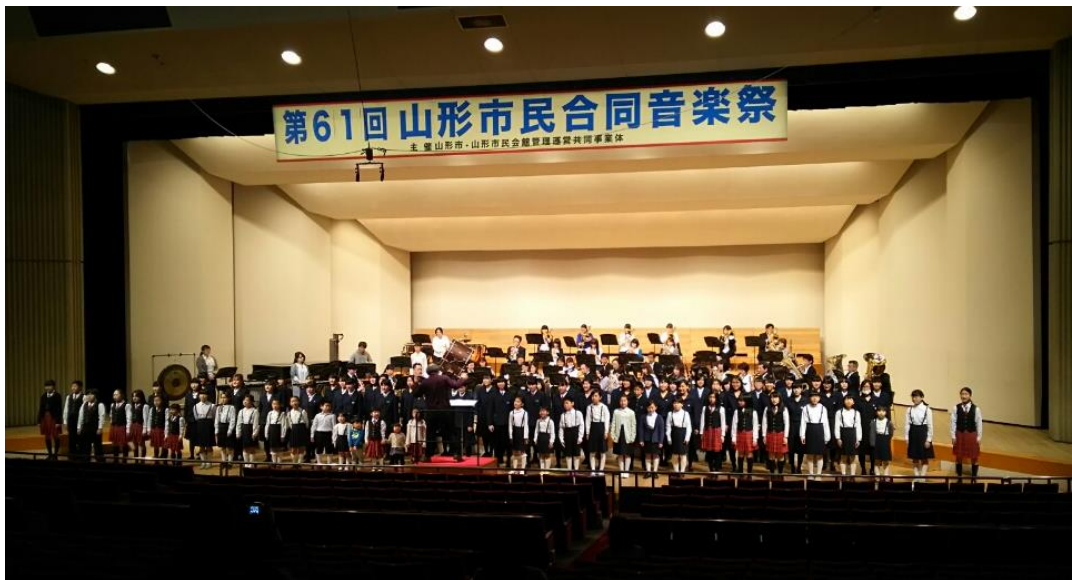
音楽部コンサート報告

～山形市民音楽祭・校内クリスマスコンサート・老人施設訪問～

12月は3回演奏の機会をいただきました。どれも歌声で心がつながる、とても嬉しい思い出です。

○山形市民合同音楽祭 12月10日（日）山形市民会館大ホール

吹奏楽とオーケストラと合唱を一度に聴ける、珍しい演奏会です。毎年山形市で開催され61回を数えました。合唱は少年少女から一般まで幅広いメンバーで歌い、私たち西高にとっては混声合唱が歌える貴重な機会です。今回は山形市出身の作曲家、服部公一先生の作品を集めたプログラムで、吹奏楽伴奏で「アイスクリームの歌」など3曲を、オーケストラ伴奏で「最上川」「紅花抄」を歌いました。最上川も紅花抄も初演は故阿部昌司先生指揮による嚶鳴女声合唱団、最上川の詩は西高の元国語教諭の芳賀秀一郎先生、など西高音楽部に縁の深い曲でした。両方とも地元を題材にした曲ですが、時代背景など知らなかったことも多く、音楽を超えて視野が広がるいい経験となりました。



○校内クリスマスコンサート 12月22日（木）西高音楽室にて



恒例の校内クリスマスコンサート、今年はクリスマス直前の開催でした。クリスマスツリーやモール、オブジェなどで音楽室を装飾し、お茶とお菓子と歌でおもてなしをしました。「RPG」で賑やかに始まり、プーランク作曲「Ave verum corpus」や「Amazing Grace」など9曲を演奏しました。

中でも会場のお客様と全員で歌った「シングル・ベル」「赤鼻のトナカイ」は大いに盛り上がり、笑顔が溢れました。今回は後援委員や文化部長が例年以上に協力・宣伝をしてくださり、100人を超えるお客様に御来場いただきました。心から感謝申し上げます。



○敬寿園訪問・クリスマスコンサート 12月24日(日) 沼木敬寿園にて

敬寿園の訪問は今回で3回目です。「赤鼻のトナカイ」「きよしこの夜」などのクリスマスソングに加え、入所者の方々と一緒に歌える歌も組み込み、手話コーラスにも挑戦しました。当日はホールにたくさんの方が集まってくださり、手拍子をしてくださったり「月の沙漠」「里の秋」などを共に歌ったりして、温かな一体感に包まれました。またお客様との距離が近く、聴いてくださっている反応がダイレクトに届き、より表現しよう、伝えようという気持ちが高まり、より心のこもった演奏になったように思います。歌うことや音楽を共有することの素晴らしさを強く感じた、とてもいい一日でした。

